

# 令和 7 年度授業改善推進プラン

教科名

技術

学年	指導上の課題	具体的な授業改善策（補充・発展等）
1 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムの進行管理</li> <li>・手作業技能の習得</li> <li>・評価と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・班員相互の協働・協力によって進度を合わせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カリキュラムの配置を工夫し、工作実習を早く完了させる。その後、振り返りにより理論を深める。</li> </ul> </li> <li>○・各工具の最適な使用の仕方を理解させて、効率よく進められるようにする。それにより、技能向上をねらう。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・材料と加工の内容において、製作した製品について家庭で使用する、関する評価と活用に重点を置く。</li> </ul> </li> </ul>
2 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気教材の選定</li> <li>・評価と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・教材の値上がりにより、価格が安く学習材として適切な教材の選定を行う。</li> <li>○・エネルギー変換に関する評価と活用に重点をどのように置く。</li> </ul>
3 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な評価基準の提示</li> <li>・栽培計画の工夫</li> <li>・計測、制御の支援の工夫</li> <li>・評価と活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○・生徒に分かりやすい配点に換算し、家庭科との合計を観点別評価それぞれについて 50 点 + 50 点の 100 点満点とした。</li> <li>○・自然相手であり、隔週であるため同一週に種まきができるよう時間割変更を行う。</li> <li>○・計測、制御で使用するプログラムの考え方や作成方法が理解しやすいワークシートの工夫を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムによる計測・制御に関する評価と活用に重点をどのように置く。</li> </ul> </li> </ul>

○すぐに取り組むこと